

令和8年度 政策討論会 第二分科会（第2回）要点記録

- ・テーマ … スポーツコミッションの設立について
- ・日時 … 2026 年 5 月 26 日（火）10 時から
- ・場所 … 第 1 委員会室
- ・会議時間 … 10：00 ～ 10：52
- ・出席者 … 米田 貴志（座長）
中岡 佐織（副座長）
昼馬 光一
殿本 マリ子
烏野 隆生
友永 修
京西 且哲
中井 良介 （座長、副座長以外は議席番号順）

・決定事項

（1）次回の進め方について

次回の政策討論会では、理事者を招へいし、スポーツ振興課より「岸和田市スポーツ推進計画」について説明を受けることとした。

（2）招へい対象理事者

スポーツ振興課

（3）次回の討論内容について

岸和田市スポーツ推進計画の内容を確認し、本市のスポーツ施策の方向性を共有した上で、スポーツコミッション設立の必要性や役割等について討論を行うこととした。

（4）次回開催予定

日時：令和8年7月7日（火） 午前 10 時から

場所：議会会議室

（5）発言要旨

各議員の発言内容は別紙のとおり。

米田座長

※ 提出参考資料

1. 全国のスポーツコミッション設置自治体一覧
2. さいたまスポーツコミッションのURL

近々、アジア大会が名古屋で開催される事で、開催地は盛り上がっている。最近はスポーツを基軸とした地域振興に取り組む自治体が増えている。合宿や大会などを取り込もうと熱心だ。なので、アジア大会の動向も注視すべきかと考える。

続いて、私が提出した資料の説明をさせていただく。1枚目のA3用紙には全国に存在するスポーツコミッションの一覧表、いわゆる現状である。ご覧の通り、多くのコミッションが存在し、先程も触れたように、その事業を展開している。地域によってはスポーツの競技に特化したものもある。球技であったり、自転車であったり、オールラウンドで、スポーツに関するあらゆるものを取り入れようとする団体もあるので、参考になれば幸と考え、提出した。2枚目は「さいたまスポーツコミッション」のURLである。ここは自転車がメインではあるが、非常に充実したコミッションである。是非ご覧いただきたい。最も成功しているコミッションで、その中の事業にはツールドフランスの公式レースとして「さいたまクリテリウム」が実施されている。世界に誇るトップレーサーが集うため、自転車ファンにとってはたまらないレースだ。それらを通して内容をご確認ください。

過日、ソフトボールの全国大会がここ岸和田を中心に行なわれた。しかしながら、その競技主体者以外に、誰も何も関わっていない。プレゼンテーションができていない。一つのチャンスを見過ごしている。そこにコミッションがあれば違った展開ができたのかも知れない。そう言う受け皿を岸和田市として必要ではないかと言うところをPRしていくことが大事だ。

そもそもスポーツコミッションの役割として、大会や合宿などを誘致できれば、こちらのプレゼンテーション次第では地域の活性化に繋がる。それが商品として見いだせれば、次回に繋がる可能性もある。市長もスポーツで町を興していきたいという願望もある。それを実現する意味でも、コミッションを立ち上げることは手助けになるのではないかと考える。また私自身は、市内の地域には、その可能性が秘められていると考えている。

今、卓球が地域で盛んに行なわれている発言があった。しかも他市から参加する大会もあると。実は、そこにコミッションの意義がある。他市から参加される方に、岸和田のミニ観光やグルメを堪能していただく。その企画を考え提案することがコミッションの仕事の一つでもある。スポーツを通して地域の活性化に繋げる事が目的である。

スポーツコミッションの取り組みで大切なことの一つは、様々な競技にはコアなファンがいる。その方々を大切にすることである。

本日は、貴重な意見を沢山述べていただいた。その中、やはり岸和田市はこのスポーツコミッションについてどのような認識なのか、スポーツ振興課にお聞かせいただければと思うことから、今回は、「岸和田市としてのスポーツ振興の戦略について」をメインに進めさせていただきたい。

中岡副座長

岸和田市においてスポーツコミッションを設立し、常設組織として運営していくことが必要であると考えます。

その理由は、大会やイベントごとに単発で対応するのではなく、常設組織として平時から継続的に情報収集やネットワーク構築を行うことが重要だからである。現在のワールドマスターズゲームズへの対応を見ても、日頃から幅広くアンテナを張り、機会を捉える体制の必要性を強く感じている。

また、スポーツコミッションは行政だけでなく、商工会議所、スポーツ協会、企業、各種団体などが参画し、地域全体でスポーツを活用したまちづくりを進める組織であるべきである。多様な主体が連携することで情報収集力や発信力が高まり、誘致活動や地域活性化の可能性も大きく広がる。

過去には東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地誘致の検討にも関わったが、活動を進めるなかで「もっと早い段階から取り組んでいればよかった」という課題を実感した。大会直前になって動き出すのではなく、常設組織として継続的に活動し、次の大会や新たな機会に向けて準備を進められる体制が必要である。

岸和田市においてもプロスポーツや各種大会の誘致に取り組んでいるが、それらをより戦略的かつ継続的に推進するためにも、スポーツコミッションの設立は有効な手段である。スポーツを通じた交流人口の拡大、地域経済の活性化、シティプロモーションの推進を図るうえでも、その役割は大きいと考える。

昼馬議員

私は地元の卓球クラブに所属し、公民館で週2回ほど練習をしています。

岸和田市卓球連盟に加入したまに試合に出場します。

10年前は市での試合数は2～3回でしたが今は10回近くに増えています。

確実に卓球人口は多くなっています。

スポーツコミッションという言葉は知りませんでしたが他のスポーツ競技も含め「スポーツによる地域振興」「まちづくり」が必要だと思います。

殿本議員

- ① 岸和田市のスポーツでどのようなスポーツができるか？
- ② 様々なスポーツにあたり、場所が確保できるか？
- ③ スポーツの開催にあたり、遠くから車で来られた方々の駐車場やホテルなどをどのように確保できるか？
- ④ 以前も空手の全国大会があったときに総合体育館の周りの道路が混雑し、また、駐車場が一杯になり、選手の応援の方々から苦情がありました。
やはり、基本的なことから解決していかないとスポーツコミッションを推進しようにも難しい点があります。

烏野議員

米田座長から提出していただいた全国スポーツコミッションに登録している自治体の地域スポーツコミッション一覧表の中で、例えば大阪府においては、熊取町にはスポーツをメインにした大阪体育大学があり、東大阪市にはラグビーの聖地の花園、また泉南市では、せんなん里海公園でのビーチバレーなど、特色のあるスポーツ施設があります。岸和田市の場合は宿泊施設も少ないなかで、今までどのような全国大会や合宿等、どのようなスポーツ大会が今まで実施されたのか、まずは本市において全国大会や合宿、大会誘致など、スポーツ振興の取組みをスポーツ振興課に説明していただきたい。

友永議員

スポーツコミッションについて、事前に配布していただいた資料を拝見し、単なるスポーツイベントだけでなく、街のにぎわい・経済の活性化等において、大いに可能性があることを理解した。

世界大会などは、数万人規模の集客が見込まれるとのことだが、そういった集客を受け入れるキャパ的な観点から考えると、現状では無理がある。まずは、国内の学生のスポーツイベントから取り掛かってはどうかと思う。

大会誘致については、各団体の協会等が中心になって進めることだとは思いますが、そのあたりについて、詳しく把握することにより、誘致活動も活発にできるのではないかと考える。

京西議員

全国世論調査（提供資料：新聞記事）では、国際スポーツ大会の日本開催を国民の8割以上が望んでいるとあり、本市においても同様と考えることから、本市の経済の活性化に向けて準備を進めるべきである。

課題として、全国スポーツ大会での来岸者をサポートできない行政の組織体制があ

る。

3月開催された「第44回全国高等学校女子選抜大会」では、試合会場の浜工業公園を所管する公園緑地課が球場整備を行ったが、大会役員や出場校の関係者及び選手の応援関係者への対応ができていなかった。

本市での開催を継続している全国スポーツ大会をサポートすることが、経済の活性化につながるものと考え、スポーツコミッションの設立に着手すべきである。

中井議員

「スポーツコミッション」についてスポーツ庁のホームページをみて、そのあらましや都道府県と市町村につくられつつあることを知りました。

大きなスポーツイベントで多くの集客でにぎわいと地域に経済効果を生み出していることはわかります。ただスポーツを通じて「儲け」を出せる条件を備えている自治体はそんなにあるわけではないと思います。スポーツコミッションの設立がまだ多くないのはその現れではないでしょうか。

いま岸和田にある各種のスポーツへの支援が、スポーツコミッションを設立することによって持続的な効果がうまれるか、他の自治体の取り組みなどを考えていきたいと思っています。